



NPO法人
堺観光ボランティア協会ニュース

1月号(通算260号)
2019年(平成31年)1月1日発行

発行所：NPO法人 堺観光ボランティア協会
理事長 川上 浩
〒590-0077 堺市堺区中瓦町 2-3-29
(瓦町ウエビル4F)
Tel & Fax : 072-233-0531
e-mail : sakaikvk@axel.ocn.ne.jp
URL : <http://sakai-kanbora.org/>

新しい時代を迎える2019、当協会にとっても 将来に繋げる飛躍の一年となりますよう！



新年明けましておめでとうございます。

新しい年である2019年が始まりました。会員の皆様、また日頃から懇意にさせて頂いている皆様、それぞれに新たな抱負を持って新年を迎えられたことと思います。穏やかな新年を共に迎えることができました事に感謝いたします。2018年は、年初に、協会発足以来の御案内したお客様が200万人を超えました。これもひとえに、会員全員で、先輩の皆さんから引き継いだ思いを真摯に守り使命感を持って活動してきた成果です。

また、昨年の漢字の「災」の異常気象に協会も翻弄された年でした。気象条件による活動マニュアルを改訂した直後、その理解が行き届かないうちに、台風に連続して見舞われ、オフィスの停電も続き、改めて、会員への周知の難しさと電気の重要性を感じました。さらに高温続きの夏で、外での活動では、大へんご苦労されたと思います。2018年に初めて実施した拝所前の定点の一日三分割の配置は、総会での質問にもありました「会員の体力消耗の軽減」という意味と、新しい会員がガイドに慣れるという点で、効果はあったと考えています。負の部分では、お客様から発せられるシグナルが多かったのも2018年の特徴です。楽しくご案内することはもちろんですが、コンプライアンスを第一にして、社会貢献をすることが大切だと感じました。幅広い行動力と観察力で情報を収集し、お客様や関係先など、周囲の環境や考えをよく理解しながら、自分たちの

役割を果たすことが肝要です。

さて、2019年10月にフェニーチェ堺が柿落としになります。最初の企画はどんなものだろう皆さんそれぞれが興味を持って



おられるでしょうが、想像通りの素晴らしい初日を迎えることと思います。それより先に、百舌鳥古市古墳群の世界文化遺産登録が5月頃に内定し、7月初旬に発表される予定です。拝所前や市役所展望ロビーを訪れる方が増えることは、過去の他地区の状況からも瞬間風速が吹くことは明らかです。具体的には、どのくらいのお客様の数かは分かりませんが、今までと同じ案内手法では十分に対応出来ないでしょう。さらに、想定外のお客様が集まる時の対策も必要です。単純に、配置人数を増やすのではなく、案内を聞きたい方とそうでない方を見極め、対応する方法、そしてご案内に於いては、量をこなす対応と、お客様の要求レベルに応じたご案内をする方法を使い分けることとなります。今年も、最近の一年一年のように、過去の実例とは合致しないスピードと変化で、「あの時はこうだった」が通用しないことが予想されます。それぞれについて柔軟な感覚で、この一年を、NPO法人堺観光ボランティア協会が将来につながる飛躍の年にして行きたいと思うとともに、「観光ボランティアは堺の宝」と言われ続ける協会でありたいと思います。

最後になりましたが、会員の皆様、そして関係各団体の皆様そして皆さんを支えて下さっているご家族の皆さんのご健勝とご活躍を祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



理事長・川上 浩

特集：堺の伝統産業を紡ぐ

堺の伝統産業を紹介するコーナー、今回紹介する伝統産業は「お線香」です。
中世の頃、旧堺市内の寺社密度は京都をはるかに凌ぎ、「泉南仏国」とも呼ばれましたが、そんな信仰心の篤い堺の人達に欠かせなかったのが線香です。

堺線香を後世に伝えるため日々新たな挑戦をされておられる伝統工芸士の奥野浩史さん（「堺線香工業協同組合」の専務理事）に、伝統産業を守るためのご苦勞をお聞かせいただきます。

☆ 伝統地場産業「堺線香」後世へ！

【 堺線香工業協同組合 奥野 浩史 】

「日本で最初に製造された堺線香」

堺の港は、15世紀頃遣明貿易や東南アジア交易の日本の基地として、海外から様々な舶載品が輸入され、沈香・白檀などの香料も重要な交易品でありました。当時の堺はそれら貿易によって強大な経済力を持ち、絢爛たる文化の花が開き、「お香」の調合法も大いに研究されたのです。



現在の線状になったお線香は、16世紀に中国からその製法が伝えられ「堺」に於いて製造したのが線香製造のはじまりであるとされています。

そして江戸時代を経て、大正、昭和に入り組合に所属する線香に携わる組合員は65軒に増えて、堺線香の名声は全国に広まってきました。

しかし、線香屋の大多数は堺市内の旧環濠内で営業していたため、太平洋戦争で戦災に遭い全てが灰燼に帰した。そのため復興を断念した者も数多く、再び立ち上がった同業者も激変する時代の波にのまれ、1軒また1軒とその火は消えていきました。現在は甚だ残念ながら11社になってしまいました。

その中で我々堺線香工業協同組合メンバーは、新しい取り組みを行っております。

まず、学校教育に目を向け、実際に学校教育に根差し線香を中心とした伝統文化を、児童学生に伝える「堺学」を行っております。



次に、地方創生が叫ばれる中、この「堺」も例外ではなく地域と共に我々の業界も伸びていかなければならないと考えます。我々は「観光」というテーマで「物」を売るのではなく、堺の歴史に根付いた堺線香の「事」を売って行こうと考え、我々自身が「かたりべ」となり工場の見学や体験を通じて、日本のみならず海外にも伝えていこうと考えております。

⇒ 次ページへ

☆1月号 インデックス (目次)

巻頭言「新年のご挨拶」	P 1	定点ガイド部	8
特集「堺線香工業協同組合 奥野浩史」	2	広報部・インフォメーション・ガイト MEMO 他	11
<各部ニュース>		《あらかると》「南区・多治速比売神社」	13
事務局	3	《ガイド豆知識》「堺と高野山」	14
総務部	4	トピックス「南海・歴史探訪 天誅組」	15
研修部	4	トピックス「大和川と堺」	16
事業部	6	[ガイド実施報告 (小学校・VRも)]	18
ツアーガイド部	6	【平成31年1月度月間予定表】	29
企画部	7	[平成30年11月 活動実績と内容]	30

3 つ目は、新しい取り組みにチャレンジしていく事。例えばイギリスから入ってきた「ハロウィン祭」の市場に参入できればと考えております。この祭りは、無病息災を祈願する祭りであり、決して仮装大会ではございません。根本を考えるとその祈願する道具として「花」「光」そして「香」を必要とします。

その「香」として「悪霊退散のお香」を2年前に開発させていただきました。新しいこの市場に参入し「堺線香」を広めていければと思います。

以上、この3つを柱に「堺線香の香りの世界」を後世へ伝えることが我々の仕事であり、使命だと思っております。



日本のお香についての最初の記録として、日本書紀に「595年4月、淡路島に沈香が漂着した」という記述があり、また「香」の字を分解して十八日と読んで、合せて4月18日をお香の日として1992年に全国薫物線香工業会により制定されています。

事務局ニュース

* 理事会・運営委員会報告

平成30年12月3日(月)14時から、堺市総合福祉会館にて運営委員会を開催しました。

* 理事長報告

①堺区気づきのボランティア講座の予告

上記講座が、2019年1月18日(金)に総合福祉会館5階大研修室で13時30分～15時30分まで開催されます。テーマは「70歳、80歳、90歳になっても元気に活動するボランティアさん5人の話」です。70歳代表として、当協会の中西美恵子さんがパネラーとして出演します。

②近畿歴史まちづくりサミットについて

和歌山の湯浅町で実施されました。歴まちとして登録している町は滋賀県は彦根・長浜、京都府は京都・宇治・向日、奈良県は奈良・斑鳩、和歌山県は和歌山・湯浅・広川、大阪府は堺。今回、堺からは狭間副市長が参加されました。来年11月は堺の当番です。

③第11回通常総会(2018年)での各部の事業計画の進捗状況の成果と反省の精査をして2月のヒアリングに活かしてください。

* 事務局

・「堺観光情報連絡会」の情報

堺市役所東側の高層ビルは、高さ85m、地上24階、地下3階。竣工は2021年との事。展望ロビーでの案内は、風景を記録に残し案内できるよう検討している(観光部から)。

・ 定点の要員不足は、12月は少し改善されてきています。新期加入の28期生が前向きに活動日数を増やしていただいたことが寄与しています。

なお、12月15日(土)から、大仙拝所前・千利休屋敷跡の配置が、3班編成になりますので、一層の協力をお願いします。

※ 運営委員会における各部からの活動報告については、各部門のニュース欄を参照願います。

◇ 各部門からの連絡・報告

各部門からのニュースを、参照願います。

総務部ニュース

* 会員の状況

12月は、賛助会員に清田義子さんが入会されました、また、報告が遅れましたが、11月21日(水)に28期の新入会員16名(女性が6名、男性が10名)の入会式がありました。

この結果、1月1日現在の正会員数は248名、休会会員数は7名、賛助会員数は7名となり、総会員数が262名で創立以来の最大数となりました。

なお、清田義子さんは、システム関係のスペシャリストで配置・交通費関係のシステム改善をお願いしています。

* 1月からオフィスの活動時間が変更になります

オフィス活動の安全上の点から、常時2名体制で活動する事にしたいので、ガイド事務とオフィス担当とが同じ時間で活動できるようにします。

このため、オフィス担当の活動時間が次の通り変更になります。

午前 9:45～13:15 (旧 9:30～13:15)

午後 13:15～16:30 (旧 13:15～17:00)

なお、これに伴い、朝の定点配置に就いた連絡は、9:45以降にお願いします。

また、ツアーガイド料の入金などで16:30以降にオフィスに来られる場合は予め連絡を取ってからお越し願います。

* 平成31年 新年祝賀会の開催

平成31年1月16日(水)12時から ホテル・アゴーラリジェンシー堺で開催します。

参加者には、卓上カレンダー(当協会の名前入り、'百舌鳥・古市古墳群'のカレンダー)を支給すると共に抽選会も行います。

なお、当日は平服に“会員証”の着用で出席をお願いします。

* 1月4日から会員用のメールアドレスが変更になります

1月4日から会員用のメールアドレスが変更になります、「2月活動予定表」を添付して送信するアドレスが新アドレスです。お手持ちのパソコンのアドレスの変更をお願いします

* 年末年始の協会活動、12月29日(土)～1月3日(木)の間は活動休止です

研修部ニュース

* 28期生の1月からの活動に応援をお願いします。

28期生は12月から大仙と展望ロビーの定点活動についていますが、さっそくミニツアーでのお客様対応をするなど積極的に活動をしています。今月同封の自己紹介文もあわせてご覧ください。

1月から新年会、各部活動とますます活躍の場が広がると思います。よろしくをお願いします。

* 全体研修会「大和川と堺」終了しました

本年度第1回目の全体研修会「大和川と堺」は、台風のため11月27日と12月12日に延期され、会場もサンスクエア堺に変更されましたが、無事に終了しました。講師は小松清生氏で、わかりやすく、多くの資料を使いながら、大和川の付け替えのようす(歴史)や今の大和川のようす、市民のとりくみ(現状)などをお話してくださいました。参加者は両日合わせて95名でした。

なお、申し込みされながら、連絡なしに欠席された方が多数おられ困惑しております。参加申し込みされた方は、お忘れにならないようお願いいたします。また、申込せずに直接来場される方もおられます。どちらも資料準備などの関係上、必ず事前のご連絡をお願いいたします。

◇ 全体研修会「大和川と堺」に参加して

【石田 一】

台風 20 号のため延期されていましたが全体研修会「大和川と堺」が、11月27日(火)午後2時よりサンスクエア堺にて62名参加のもと開催されました。

講師は永らく堺市の和川近くの小学校に勤め、小学4年生と「郷土の開発 大和川のつけかえ」の学習にとりくみ、「大和川かるた」や「わたしたちの大和川」の編集・発行をされてきた小松清生(かが)さんでした。定年退職後も「わたしたちの大和川」研究会を通じて大和川に関わり続けておられます。

「大和川かるた」のプリントや、「わたしたちの大和川」(補充版)、「大和川つけかえの史跡探訪ガイドブック」やカラー刷りのレジュメなどたくさんの資料を頂きました。

長さ14キロメートルにわたる積替え工事をわずか8ヶ月で完成させたこと、堺住人にとっては迷惑だなどとまで言われた大和川ですが、近年では水質改善率日本一となり、ウナギ、カニ、タコなども生息し、淀川に比べて外来種に侵されていないことなどが印象に残りました。ありがとうございました。

* 30年度会員交流会

12月19日(水)の京都府八幡市コース(石清水八幡宮ほか)は多数の応募のためバスは2台になりました。次回は2019年1月22日の大阪府高槻市(城跡周辺や今城塚古墳廻り)です。また、集合時間は8時20分、集合場所は堺市役所市民広場駐車場に変更となっております。応募いただいた方は遅れないようお願いいたします。

◇ 会員交流会(八幡市コース)

【八木さおり】

12月19日(水)、今年度の会員交流会「石清水八幡宮のある八幡市コース」に参加しました。

お天気に恵まれ、堺市役所から出発して帰堺まで、終始和やかな感じで現地の観光ガイドの皆様にご案内していただき、色々お話も聞けて勉強にもなりました。



石清水八幡宮のある男山は、京都平安京の裏鬼門にあたり八幡造りの本殿など国宝に指定されているものや、山内には多くの重要文化財があり、神仏習合だった頃の面影の残るところや、神鳩が彫られたものも至るところでみられ、ガイドさんのお話はとてもわかりやすく楽しく見学できました。

石清水八幡宮は、日本三大八幡宮のひとつになっています。今回参

加出来なかった皆さんにも、機会があれば是非見学して頂きたいですね。

午後の行程では、流れ橋(上津屋橋)、茅葺屋根の残る伊佐家住宅にご案内して頂きました。研修部のお計らいで、やわた走り井餅(ハリイシ)のおみやげ付きでとても有意義な一日になり、参加してよかったと心より思える交流会になりました。

企画、お世話いただいた研修部の皆さん、現地の観光ガイドの皆様、ありがとうございました。



伊佐家住宅

事業部ニュース

* 各プロジェクトの活動

(華美芝居部隊)

- ・12月9日(日) 山之ロプラザでアメリカ・インドネシアからの「呈茶おもてなし」のお客様に華美芝居披露。楽しんで頂けました。
- ・12月12日(水) 錦校区 「いきいきサロン」 43名来客
華美芝居だけでなく音曲組によるダンスや古代衣装着用経験を楽しんで下さいました。

(音曲チーム)

- ・12月7日(金) 与謝野晶子生誕祭に参加。サンコー都市開発ロビーで、新作のダンス「USA」を披露。生誕祭の締めくくりプログラムで大盛況でした。

(鉄砲鍛冶屋敷調査)

- ・11月15日(木) 29日(木) 鉄砲鍛冶屋敷調査を手伝いました。主屋土間 渡り廊下を調査。灯油ランプ・ランプ用ガラス製ホヤ・ランプ芯、鉄砲鍛冶道具大型やつとこ・大筒用玉鋳型・大洲藩木型荷札等が出てきました。

(JA 堺市「CROP」)

- ・1月10日(木) 南区大森を取材予定

(呈茶チーム)

- ・12月9日(日) 山之口商店街で「晶子生誕祭呈茶」20名限定のおもてなし。アメリカ・インドネシア等海外からのお客様も呈茶を充分楽しんで下さいました。呈茶を楽しんだ後、当協会メンバーが調理した小豆粥の御馳走には大喜びでした。

* 山之ロプラザの当番について

- ・12月28日(金)～1月8日(火)は年末・年始の為、当番はありません。

ツアーガイド部ニュース

* 「ツアーガイドの為の博物館研修」をしました

博物館リニューアル後の研修に復習の方も含め多くの方が参加されました。

10月31日(水) 19名、11月2日(金) 17名の参加でした。この後、11月と12月に、26期と27期を中心に10名が検定を受けます。

* 「阪堺電車勉強会」のお知らせ

来年1月29日(火) 9:30～12:00、若い期を中心に1年に1度の勉強会をします。

阪堺電車の乗車と座学で詳しい阪堺電車の勉強をします。次号で募集をします。

★ 平成30年11月度ガイド実施報告 (敬称略)

○ 総件数 98件 / 案内の総人数 2,466人 / 派遣ガイドの総人数 154人

※ 「ガイド実施報告」「小学校社会見学」「VR体験ツアー実施報告」の掲載について

今月号は、P18～28に掲載していますので、ご覧ください。

企画部ニュース

* 学校連携関連

大阪観光大学で11月19日に中村教授が担当する「観光サービス人材論」で江川運営委員が講義を行い15名の学生が受講しました。観光学を学ぶ学生に堺の魅力を伝えることができました。

◇ 大阪観光大学「観光サービス人材論」の講義

【江川 栄一】

毎年行われている大阪観光大学との連携事業である「観光学実習」が今年は取りやめになりましたが、11月19日に中村教授が担当する「観光サービス人材論」の授業の中で、時間を取っていただいて講義を行いました。15名の学生が出席しました。



講義の内容は、堺の観光資源、観光戦略や堺観光ボランティア協会の活動を資料と写真を活用して分かり易く説明しました。

出席した学生の感想文には「ボランティア協会の活発な活動状況を初めて知った」「堺には行ったことがないが、ぜひ観光に行ってみたい」などの嬉しいコメントが書かれていました。観光学を学ぶ学生に、堺の魅力を伝えることができたのではと感じました。

* 広域連携関連

① 南海・歴史探訪ガイドウォーク

さやか観光会主催で12月1日に「天誅組、狭山藩に参加要請・対応に苦慮した結果とは？」のサブテーマで第5回ガイドウォークが開催されました。参加者70名は、軍資金が枯渇する狭山藩の対応という歴史的一幕を知り満足されていました。詳細は協会ニュースを参照下さい。

第9回実行委員会が11月26日(月)に開催され、次年度のテーマを「～あなたの知らない歴史秘話～」(仮称)とし、計画を立てることになりました。

② 大阪・奈良歴史街道リレーウォーク

12月1日(土)に、たかとり観光ボランティアガイドの会主催でサブテーマ「日本一の山城と紅葉狩ハイキング」ウォークが開催されました。第四幕歴史の道「FootPath」の最終回で、南北朝期に奈良から吉野へと通じる交通の要衝であった高取城に2時間かけ汗だくになりながら登りました。参加者は128名と盛大なウォークでした。

◇ 「高取城跡へ登山」してきました

【木村 義穂】

12月1日(土)大阪・奈良歴史街道リレーウォークー第四幕歴史の道「FootPath」の最終回である「日本一の山城と紅葉狩りハイキング」(たかとり観光ボランティアガイドの会主催)に参加しました。

高取城は、南北朝期に奈良から吉野へと通じる交通の要衝として築かれ、地元の土豪・越智氏が拠点としていました。当時の高取城は越智氏の一支城に過ぎず、天守もなく、にわか造りの板塀で防御する中世の城郭でした。

その後、筒井順慶や脇坂安治、本多利久・俊政らが入城しましたが、寛永17年(1640)徳川家譜代家臣であった植村家政が2万5千石取り大名の高取藩初代藩主として入り明治維新まで14代の長きにわたり植村氏による高取藩が存続しました。植村氏のご子孫(家忠氏)は現在も高取町長を務められています。植村氏は初代家政が家康より「家」の一字を与えられ、以後14代家壺まで「家」を名乗っています。

高取城は美濃岩村城、備中松山城と共に日本三大山城と呼ばれていますが、それに相応しく「郭

内」の周囲は約28km、面積は6000万㎡の広さを誇り、城下町の麓からの比高は446mで近代城郭では日本一の高低差を誇る全国でも屈指の名城です。

その山城に2時間かけて登ったのですが流石に疲れしました。12月というのに汗だくになりましたが、それだけの価値があったと満足しています。国見櫓からは大和が一望出来、本丸からは吉野が見えました。条件が良ければ、六甲山は勿論、あべのハルカス、二条城まで見えるそうです。紅葉は少し過ぎていましたがランチタイムでの目の保養になりました。

下山は同じ道より遠まわりでも別を選び、壺坂寺経由にしましたところ、途中の岩盤に刻まれた五百羅漢を拝むことが出来感動しました。高取城築城時に召し出された石工が彫ったのでは無いか？との説もあるようですが作者は不明のようです。

今回は第四幕の最終回ですので、完歩した後、高取町役場で完結式が有りました。今回の参加者は128名+スタッフ16名でしたが、15回全体では1,523名+スタッフ299名、合計1,822名の方にご参加・ご協力をいただきました。また15回全てにご参加頂いた方は11名でその方には完歩賞を、当日ご参加頂いた方には参加賞が授与されました。実行委員会では現在第五幕を企画中です。多数の皆様のご参加とご協力をお願い申し上げます。有難うございました。

③ 美原まち歩きデザイン広場

12月2日(日)に美原区役所で「美原区ハート&トークセッション」が開催されました。第一部は「美原の魅力を考える」というテーマでパネルディスカッションが行われ、第二部は美原区図書館及び堺観光ボランティア協会共催の第2回美原区魅力発見まち歩きが行われました。

◇ 第2回美原区魅力発見まち歩き

【江川栄一】

12月2日(日)に美原区役所で「美原区ハート&トークセッション」に参加しました。

第一部は、竹山市長、澤田美原区長、川上理事長が出席され「美原の魅力を考える」というテーマで、パネルディスカッションが行われました。

第二部は、第2回美原区魅力発見まち歩きが実施されました。参加者は52名で、大人向けコースと子供向けコースに分かれて、上黒山地区と阿弥地区を歩きました。



今回は、コースの途中で阿弥陀寺住職や古民家当主に話をさせていただき、地元の人にも知らないエピソードが聞けて大変楽しかったと好評のうちに終えることができました。

定点ガイド部ニュース

* 「町家歴史館勉強会」を開催します

延期していました町家歴史館勉強会は、3月19日(火)の開催となりました。10時~12時と14時~16時の午前・午後各1回です。出席希望の方は各種行事予定表の午前か午後に○印を記入の上、事務局に提出をお願いします。制服・名札着用です。なお、定点配置に支障が出るようであれば、調整させて頂くことがありますので、ご了承ください。

* 高層館1階「火の鳥」はフックドラグという製法により制作されています

「火の鳥」タペストリーは、市制百周年記念事業として建設された高層館の「アート計画」に基づき制作され、デザインは手塚プロダクションに委託し、製作は大阪特殊織物工業協同組合に依頼したものです。

製法につきましては、市観光推進課より協同組合に問い合わせをして頂き、フックドラグという製法によって制作されており、堺緞通ではないことが確認されています。ガイド時には留意をお願いいたします。

* 外国人観光客へのアンケート調査に引き続きご協力をお願いします

市観光企画課からの依頼により、3月31日まで定点7ヶ所において、外国人観光客へのアンケート調査を実施しています。この調査の目的は、増加する外国人旅行者の国籍や訪問地などの実態を把握し、今後の観光施策の企画・立案の基礎資料とするとともに、効果的なプロモーションにつなげるというものです。

手順は、外国人旅行者自身の携帯でQRコードを読み取り、アンケートを入力・送信して頂き、お礼のメモ用紙をお渡しするものです。引き続きご協力をお願いします。

* 全体部会を12月11日(火)に行いました

下記は、各定点の11月の「日誌」から抜粋したものを掲載しています。

A グループ (川上由)

* 堺市役所 21 階展望ロビー (担当：平野・大北・南野)

- ・11月30日プロジェクションマッピングの説明を何人かの人にしました。
- ・台湾からの留学生7名。主に、百舌鳥古墳群の話、旧市内の栄えたころの話をしました。堺市から依頼のアンケートに答えてもらい、景品のメモ帳を渡しました。
- ・岡山からの男性が「いろいろ古墳を見てきたが百舌鳥古墳群はスケールがちがう」と、驚いておられました。

* 堺駅観光案内所 (担当：重永)

- ・堺事件発生地近くの料亭の女将をご案内しました。「お客様より、よく堺事件のことを聞かれます。」とのことでした。
- ・仁徳天皇陵古墳へ行く予定の大東市からの男性にミニツアーを紹介すると、急遽予定を変えて参加され、旧堺燈台、大浜公園などをご案内しました。「行先を変えてよかった。ミニツアーは楽しかった」と喜ばれました。仁徳天皇陵古墳は別途行かれるとのことでした。

* 大仙公園観光案内所 (担当：川上由・堀・江川信)

- ・11月21日宮内庁の職員や発掘調査中の学芸員の方の動きがあわただしかったです。「何か大発見でも」の問いに「後日、発表します。」と、にっこり笑ってくれました。
11月22日、テレビ局や報道関係者、また多くの方が拝所前に集まりました。ヘリコプターも飛び回っていました。23～30日も報道を受けて、発掘現場の確認に多くの方が来られました。
- ・11月8日10時から大仙小学校3年生の「ガイド体験」がありました。4人グループで4か所に分かれてのガイド活動。拝所に来られたお客様も子供たちのガイドを楽しんでおられました。学校関係の方、市長はじめ市役所関係者、保護者が大勢見学に来られていました。
- ・仁徳天皇陵古墳一周コースをご案内したところ、古墳めぐりでは、説明がないとわからないことも多いが、説明を聞きながら一緒に歩いて廻れたことは、とてもよかったと、喜んでいただけました。

Bグループ (戒田 啓二)

* さかい利晶の杜 (担当: 松村・柳)

- ・晶子さんの初期ペンネーム、小舟(オフネ・コフネ)どちらでしょうか?
⇒どちらも違います。「鳳小舟」です。「ほうしょうしゅう」と読みます。与謝野晶子倶楽部ホームページに明治32年(1899)「よしあし草」11号に新体詩「春月」を鳳小舟の名で発表と載っています。
- ・昭和13年生まれの方が、昭和20年の空襲で市民病院に避難して命拾いをした、一方龍神方面へ行った人は大きな被害を受けたと話して下さいました。
- ・昭和16年生まれの方。大浜海水浴場で遊び、往復のチン電にのるのが楽しみだった、と言われていました。昔の大浜は賑わっていましたネ。

* 千利休屋敷跡 (担当: 辻・梅影・林マ)

- ・韓国からの旅行者15名。韓国でお茶を習っている方々でした。利休さんの話を通訳を通してご案内しました。
- ・写真館に成人式の撮影に来られた母娘。利休屋敷跡のような素敵な場所があり、ここで写真を撮る事が出来たのは良い記念になりました、と言っていました。
- ・台湾からの男性。昨日は京都に行き、嵐電に乗ってきました。路面電車に関する記事を書くため、今日は堺電に乗って堺へ来ました、と言っていました。

* 山口家住宅 (担当: 今村・西岡英)

- ・11月の案内人数は、前年度比114.5%と好調でした。文化財公開4日間と関西文化の日2日間で全体の60.5%を占めました。同窓会や歩こう会などのグループが目立ちました。
- ・日本語学校の生徒と先生15名。中国・ベトナム・フィリピン・イラン・スーダン他、国際交流会館で勉強中で今日は校外学習日。配置当番の方がチン電で一緒になり、山口家住宅見学を薦めました。
- ・女性2名。建築関係の方で熱心に写真を撮られていた。富田林の杉山家にも行かれていて、話が盛り上がりました。

* 清学院 (担当: 澤井・林茂・佐野)

- ・11月10日。昨日のNHKのラジオ深夜便を聞かれて特別公開の事を知り、徳島県から来られた方がいました。
- ・河内長野(元堺市民)と堺市内の女性。暇を見つけては、堺を廻っているとのこと。先日は南宗寺へ行き、今日は山口家住宅から清学院へ来られた。河口慧海はご存じなかったが、ご案内すると観心され興味を持たれた様だった。「チベット旅行記」を読んでもらうと行って帰られた。
- ・不動明王は、江戸時代の作となっていますが、もっと古い「平安・鎌倉」のような気がするのですが、本当のところを教えてください。
⇒ガイドマニュアルにも、不動堂の仏像はいずれも江戸時代と明記しています。

Cグループ (上野 数男)

* 南宗寺 (担当: 中西慎・澤野・大橋)

- ・宮崎市からの7名。日向国都於郡(とのこおり)十代、伊東三位入道義佑(よしすけ)が堺慈光寺に埋葬されているので堺に来られたとのこと。義佑は豊臣秀吉から堺の土地を賜ったと堺市史7巻別編に出ているとの事です。
- ・中国人女性1名。少し日本語が話せたので何とか身振り手振りで説明出来た。日本のお茶文化に

大変興味を持っており更に勉強したいとのこと。

- ・千葉県からの女性4人。八方睨みの龍に大変感動され八方からの龍の顔を堪能されていました。

* 妙國寺 (担当：小出・箕野)

- ・千葉より正木直彦の曾孫が拝観。堺事件が起きた時は6歳だった曾祖父が切腹の様子を隠れて見ているとの事。箕浦さんにとっても可愛がってもらったそうです。正木直彦は、熊野小学校出身で、明治天皇が来られた時、代表して書を読まれたそうです。「回顧七十年」の著書を出版。
- ・貝塚よりの親子。左甚五郎の墓股の話をする、左甚五郎の出身は、拝観者が住んでいる水間鉄道沿線の貝塚市三ツ松らしいと話してくれました。
- ・堺からの2人。堺かるた「蘇鉄さえ堺へ帰ろう」という句を披露して花を添えて帰られました。

* 堺伝統産業会館 (担当：奥野)

- ・展示の手織り緞通の織り機を見て、「これは体験できないのですか？」と尋ねられる方が複数ありました。
⇒手織緞通の見学(毎週月曜日)が行われていましたが、都合により当分の間、休演となります。
- ・台湾の調理専門学校の学生さん達。シェフの卵なので、包丁の知識習得に熱心でした。

* 自転車博物館 (担当：大橋・溝)

- ・ピワイチ(200km)を走ったという75歳以上のグループ6名。アワイチ(淡路島1周150km)・しまなみ海道(59km)も走ったとのこと。失礼ながら高齢の愛好家に驚きました。
- ・大阪市内の親子3代の方々。1台1台ゆっくり見て頂き、3階体験コーナーでは小学生の子供さんが変速ギア・ライトの新旧の仕組みを見て触って楽しんでいました。

広報部ニュース

* 「堺から仏教を変えた行基さん」公開講演会を開催します。

行基生誕1350年、堺で生れた行基さんの業績と教えについて学びたいと思います。講演会に参加を希望される方は、2月の活動予定表、各種行事予定表欄に○をお付けください。参加人数の都合で抽選になる場合は、1月末に事前に連絡致します。

日時：平成31年2月20日14時～16時30分、場所：堺市総合福祉会館6階ホール
第一部【講演】「堺から仏教を変えた行基さん」講師：喜光寺・高次喜勝副住職
第二部【パネルディスカッション】・高次喜勝副住職、堺市文化財課 近藤康司主査
・コーディネーター：柿澤和代会員

※ 公開講演会のチラシをニュースに同封しています。

* 会員サイトに映像と写真を公開しています。

マナー講座(9月21日実施)の映像、堺まつり・堺文化財特別公開の写真をアップしています。

* 来年度からの協会ニュースは、原則ホームページでの閲覧になります。

毎月の協会ニュース発行につきましては、いつも皆様にお世話になっております。現在、ニュースは紙ベースで発行していますが、来年度(平成31年4月号)からは、原則ホームページの中で閲覧して頂く方法を推進させていただきます。

但し、インターネットの環境が無い方には、従来通り紙面で発行させていただきます。
今後ともご協力宜しくお願い致します。

《インフォメーション》

* 語学同好会のご案内

「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録に向けての活動が進んでいます。

来堺される外国の方々に 外国語で堺のまちを紹介しましょう。

会の名称	開催日	開催時間	開催場所
・英会話サークル	1月 23日 (水)	14:00	堺市立国際交流プラザ 6階大会議室
・韓国語同好会	1月 10日 (木)	10:00	堺市立国際交流プラザ 6階会議室
・中国語同好会	1月 17日 (木)	9:45	堺市立国際交流プラザ 6階大会議室

※ 上記サークルに参加希望の当協会員は、直接、会場で申し込みください。

《ガイド便利MEMO》

◆ 施設の1月の休館日(休園日)について

・山口家住宅・清学院	(休館：毎週火曜日)	8日・15日・22日・29日	
・堺アルフォンスミュージアム館	(休館：毎週月曜日)	7～9日・15日・21日・28日	※祝日は開館
・日本庭園	(休館：毎週月曜日)	7日・15日・21日・28日	※祝日は開館
・堺市博物館・伸庵	(休館：毎週月曜日)	7日・21日・28日	※祝日は開館
※ VRツアー・古墳シアターは、月曜日 観覧できます。			
・自転車博物館	(休館：毎週月曜日)	7日・15日・21日・28日	※祝日は開館
・堺伝統産業会館	無休 (但し、年末年始は、休館)		
・さかい利晶の杜	(休館：毎月第3火曜日)	15日	※観光案内展示室は、無休。

★ 年末年始の休館

《山口家住宅、清学院、日本庭園、さかい利晶の杜》は、12月29日～1月3日

《堺アルフォンスミュージアム館》は、12月29日～1月4日

《堺市博物館・伸庵》は、12月28日～1月4日

《自転車博物館》は、12月25日～1月5日

《伝統産業会館》は、12月29日～1月3日

◇ J:COM堺「堺シティレポ」1月の放送予定

堺市広報課より1月のJ:COM堺の「堺シティレポ」放送予定が入りました。放送された場所に行く方法や概要など、問い合わせがあるかも知れませんので、注意して見ておいて下さい。

『J:COM堺 11チャンネル 15時00分～15時15分、22時15分～22時30分』

※ 特別番組などで放送時間・内容を変更・休止する場合があります。

過去の番組は、市ホームページでもご覧になれます。(一部を除く)。

《平成31年1月分》

放送日	番組名
1月4日(金)まで	堺のまちに新しい文化を ～2019年秋にグランドオープン「フェニーチェ堺」～
1月5日(土) ～11日(金)	茶の湯の文化を生かした堺のおもてなし
12日(土) ～18日(金)	市民の安全・安心のために～消防局の取組み～
19日(土) ～25日(金)	堺のまちに新しい文化を ～2019年秋にグランドオープン「フェニーチェ堺」～
26日(土) ～2月1日(金)	ふれあいから生まれる交流の輪

※ 最新の番組名は、堺市ホームページ内「堺シティレポ」のページをご覧ください。

http://www.city.sakai.lg.jp/city/info/_koho/catv.html

《あ・ら・かると 1》

* 南区のニュータウンに眠る 歴史と文化 NO. 5

「朱殿が映える多治速比売(タジハヒメ)神社」

【柿澤 和代】

青空に、くっきりと、こんなにも朱殿の映える神社があるか？

それもそのはず、ここは多治速比売命という女神を主祭神とする神社で、建築物や境内至る所に、独特の艶やかさと華やかさがみられる。年があらたまり、晴れ着姿の善男善女が、平成最後の新年を寿ぐために、人それぞれの願いを胸に、同神社の玉砂利を踏みしめることだろう。

朝廷が認めた格式ある神社、延喜式内社は、和泉国大鳥郡には24社あるが、そのうちの一社で創建は西暦530年、第28代宣化天皇の御代と伝わる多治速比売神社。

宣化天皇は継体天皇の第2子で、子孫に河内国多比郡を根拠とした多治比氏がいる。主祭神として祀られる多治速比売命との関係がしのばれるが、文献や記録に見出すことが出来なかった。おそらく、この付近の陶器生産に携わった人々の、集落の守護神として創建されたのであろう。ヤマトタケルの妃であったと伝わる多治速比売、神とまで崇め祀られた蔭には、ヤマト王権との政略的な婚儀や、相模の走水(ハリズ)で海中に身を投じた弟橘比売命(トコノハヒメ)のように、人々や一族のために身を犠牲にした何かを請け負ったのではないか・・・?などと考えるのは穿ち過ぎだろうか？

創建当時の様子はわからないが、永正15年(1518年)からの、この付近の宮座の記録「上神谷若松荘上・下条」が存在していたことや、江戸時代に記された「高山(コウゼン)縁起絵・紙本著色6巻」が残されていたことで、同神社は天神(菅原道真)・牛頭天王(素戔嗚尊)・蔵王権現を祀り、江戸時代は「高山天神(コウゼンテンジン)」と呼ばれて崇拝されていたこと、明治のはじめ神仏分離令で廃寺となったが神宮寺として総福寺があったことなどがわかる。

朱と緑青が鮮やかな本殿は天文8年(1539年)～天文10年(1541年)に再建されたという棟札や、高石の大工「そ五郎」の名が書かれた墨書が見つかり、室町時代の遺構として昭和24年2月、国の重要文化財に指定された。

三間社入母屋造り、正面には千鳥破風(合掌型の板)、向拝(社殿の屋根の中央が前方に張り出した部分)、その軒先には曲線状の唐破風をつけて、桃山時代の先駆となる華麗で写実的な彫刻、和泉国の



一神社でありながら、南都や四天王寺に劣らない技術の高さが随所に見受けられ、獣の頭のような珍しい木鼻（水平材や柱から飛び出した部分の彫刻）や、向拝の手挟（テマ）には、ここだけという芭蕉と蟻螂（カマリ）の彫刻が施されている。蟻螂はあたかも前足をかざし礼拝しているかのような仕草をみせる。

再建時の天文年間は、どんな歴史ドラマが繰り広げられていたのだろう。天文元年、三好元長が顕本寺で自害、この本殿が再建をはじめた天文8年、元長の長男三好長慶が上洛し、信長が出てくる20年前、最初の天下人として名乗りをあげた。天文10年には伊勢神宮式年遷宮が行われている。戦国の世とは言え、堺がひとり栄華を極めていた時代である。地域の信仰を集めて、この本殿の再建に合力した氏子や村人たちの誇りが、いまでも秋の大例祭に残っている。大庭寺、小代、大平寺、和田、伏尾、平井、各地のだんじりや神輿が結集する秋祭は、長い歴史の中で世代から世代へ受け継がれ、日本古来の神社や氏神が、地域を結びつける大きな役目を担っていることに気付かされるのである。仲間意識を育み、人々の想いが共有でき、地域に根差した信仰の場を持つことの幸運が爆発するのが、この秋祭である。

すぐ横にある梅林は、昭和38年、泉北ニュータウンの造成と臨海の埋め立て用に山林が削られ、もともと同神社は本殿と13社の末社をあわせて荒山宮（コウゼンミヤ）と称していたので「荒山公園」として整地された。

早春には「摩耶紅梅」「楊貴妃」「開運」などのように、美しくもめでたい名がついた1400本の梅が咲き誇り、いまや南大阪屈指の梅の名所となっている。

梅が終ると、桜、新緑、紅葉、四季折々に色を変える神域、「花並木ありて神山闇なきず」公園の中心部からは金剛、葛城山の山並み、西に目を転じれば茅渟の海が望まれ、夕陽が沈むころの荘厳さは言葉では語り尽くせない。



境内の一角に「海軍中将 鈴木貫太郎」の玉垣が・・・鈴木貫太郎は太平洋戦争終結時の内閣総理大臣をつとめた人で、慶応3年、同神社の氏子村、久世村（伏尾）で関宿藩家老の息子として誕生した。昭和11年の2・26事件で反乱軍に襲われ、死路をくぐり抜けたのは多治速比売神社の神のおかげと、翌年礼拝にきた。そして、またも「日本の一番長い日」終戦の日の早朝、国粹主義者に襲撃されるが、間一髪救出された。幼少より暴走した馬に蹴られたり、海軍時代は夜の海に転落するなど、幾度もの危機を脱した貫太郎の運の強さは、多治速比売神社の守護のおかげか？

毎年、1月6日に行われる同神社の特殊農耕神事「福石まつり」、正式には「福石のおこないの式」と言われ、柳の枝2本の間に版木で作ったお札をススキの穂と榊の葉とともにさみ、これを「牛王杖」（ゴウズエ）と称し、神前で祈祷の後、苗代の水口に挿しておくといナゴなどの害虫除けになるとか・・・。

境内に鎮座する福石には、こんな昔ばなしも残っている。和田村の働き者の夫婦の家には、貧乏神が住みついて、出ていく気配がない。働けども働けども、貧乏神がたらふくおまんまを食べるせいで、夫婦の暮らしは一向に楽にならず、ある日、思い余って女房が腰紐を見せると、色香には勝てず、貧乏神が石になって退散するというお話、（当協会HP 華美芝居コーナーで動画配信中）貧乏神を疎ましく思いながら、共存させている心優しい夫婦、本当は誰にでも喜んでもらえる福の神に生まれてきたかったと嘆く貧乏神、どこか滑稽で憎めない神さん。世話になった礼を述べて石に・・・。実はその神さんのおかげで、人一倍働き者になったことを感謝する夫婦、村一番の長者となって、その石は、いま「福石」として同神社に晴れやかに鎮座している。目先の利だけに血走り、自分の利益にならないものは排斥しようという現在の風潮にあって、この神社に残るむかし話は、ほのぼのと子どもたちに伝え残していきたいものである。

《あ・ら・かると 2》

* ガイドの豆知識 5 「堺と高野山」

【山田 武彦】

堺の町を東南に向かって貫く西高野街道は古くからひらけ、平安時代後期から鎌倉時代初期には高野参詣道として使用されていた。室町時代から江戸時代には、港町堺と高野山との物資輸送でにぎわった。元和の町割以降の堺においては、大小路と接続していた。高野山に登ると、金剛峯寺に御影堂という建造物を見る。現在ある建物は江戸時代、紀州侯の寄進造営したものであり、その前の御影堂がどんな姿をしていたかわからないのであるが、1388年に堺の商人の万代屋(もずや)が独力で修築したものであった(一説には奥の院の修造)。これの建築、設計作業には人や物の経費だけでなく、堺から高野山までの間の複雑な南北朝の支配地を通り抜けるだけでも莫大な費用が掛かったはずである。

高野山金剛峯寺
根本大塔

また戦国時代に堺を見たポルトガルの宣教師の報告によると、当時の堺は、「二つの門があつて番人が居り、夜はこれを閉じるを例としていたばかりでなく、昼間でも紛擾(フジヨウ)があれば、すぐ閉じた。当時は戦国時代の事であったから、各地には常に戦争の絶え間がなかったが、堺はひとり中立独立の都市であつて、壕の内は平和にみち、勝者敗者もここへ来れば、皆平和の裡(ウチ)に安楽に生活し、敵味方といえども逢えば微笑をかわしながら、愛情と礼儀とをもつて応対した。だが壕の外五歩を出ずると、たがいに果たし合いをした」とある。

この不思議な現象については、日本側の記録にも多少述べているものがある。たとえば『茶湯古事談』に、「和泉、河内の間には、戦争の絶え間がなかったけれども、『堺は弘法大師高野の門前』だと言われて、ここばかりは敵も味方も入り交じり、銭湯などで一時込み合い、へし合つても、喧嘩をしなかった」と言っている。

いわゆる『弘法大師高野の門前』とは何を意味するか。大師の深き慈愛に恵まれて、死後は敵も味方もなければ、また宗旨の異同もなく、大師の手で皆救われるとの信仰から、堺が中立地帯、無風地帯であった事を意味するのである。これは、もとより事実としては多少の割引を要するとはいえ、戦雲が全国を覆っていた当時であつては、一大奇蹟といわなければなるまい。

これほどまでに堺の人々は意識の有る無しにかかわらず高野山を頭においていたのである。とは言え「元禄2年堺大絵図」で見ても、寺院225ヶ寺、これには種々の宗派を含んでいる。此処に私は「弘法大師門前の町」と言うと同時に堺は「商売の町」であり、「和を乱すものを嫌う町」、それ故に連歌師牡丹花肖柏の狂歌にもあり、山上宗二記にも記されているごとく「我が仏 隣りの宝 婿舅(ムコシュウ)・・・」を話題にすることは「商売の障りにこそなれ、得にはならない」と言う事が徹底していたのではないかと思う。

参考文献： 「大阪と堺」 三浦周行 岩波文庫、 「堺の史的幻影」 田島 清 広文堂

《トピックス 1》

* 南海・歴史探訪ガイドウォーク 第5回

「天誅組 狭山藩に参加要請 対応に苦慮した結果とは？」に参加して

【岡崎 形成】

今回は大阪狭山市の「さやか観光会」主催の「天誅組の足跡ウォーク」に参加しました。12月1日、天候にも恵まれお客さん約70名で5班に分かれ、順次9時すぎから「さやか公園」を出発しました。

天誅組は、文久3年(1863年)尊王攘夷派の中山忠光卿、三条実美卿達が、攘夷祈願のために孝明天皇が大和の神武天皇陵と春日神社を参拝したのち倒幕へと進めようとする「孝明天皇大和行幸」を画策しました。その年の8月13日に「大和行幸」の詔勅が出ました。翌14日には中山忠光を大将に吉村寅太郎、藤本鉄石、松本奎堂を総裁に据え尊王浪士38人が「大和行幸」の先鋒となるために京都の方広寺に集結しました。

夕刻には伏見から淀川を船で下り15日10時には土佐堀の常案橋に着き、夜半には堺に上陸しました。そして、翌16日朝に西高野街道を南進し、狭山藩には10時頃到着し報恩寺で休憩しました。

吉村寅太郎達は狭山藩に出向き、第12代藩主北条氏恭に会って「天皇行幸の先鋒としてやってきた。我々に加われ!」と要求しようとしてしました。藩主とは病気を理由に会えませんでした。「甲田の水郡邸で待っている」と言い残して吉村寅太郎達は立去りました。突然の要求でしたが水郡邸へ「甲冑10領、ゲーベル銃10艇、槍15筋、米若干」が届けられました。しかしその後逆賊となってしまいます。

私達は「さやか公園」を出発してまもなく天誅組が休憩をした報恩寺に到着、説明を聞きすぐに水郡邸に向かい出発しました。しばらく歩き、富田林市に入ってから国の重要文化財に指定されている錦織神社に到着。天誅組の碑があり、またこの辺りは織物技術をもった人々が百済から棲みついたところと言われています。水郡邸に着きましたが、かなり老朽化しているものの大庄屋の面影はありました。現在、まだ子孫の方がお住まいとのこと。

次にすぐ近くの養楽寺に着き、ここは水郡邸の菩提寺で水郡善之祐のお墓があります。まもなく寺内町の交流館に着き、昼食をとりました。昼から寺内町の成立と発展の中心になった興正寺別院へ、このお寺は地元の人たちに御坊様と呼ばれています。次は仲村家住宅でしたが、ここは造り酒屋でもありましたし、吉田松陰も2回滞在しており、当家の仲村徳治郎が天誅組に加わりました。最後に天誅組に加わった辻幾之助のお墓がある西方寺へ。ここを最後に寺内町で解散して、全員無事に帰途に就きました。

《トピックス 2》

* 水質改善率 日本一! 「大和川と堺」全体研修会に於いて

【長江 幸代】

今回の研修会はサンスクエア堺で行われ、私は二回目の12月12日(水)の部で参加させて頂きました。講師は、歴史教育者協議会堺支部代表、大和川市民ネットワーク事務局長の小松清生(かお)さんです。お顔は時々お見かけしていますが、実際にこんなに長い時間をいただいております。初めてでした。

小松さんは教師をされている頃、「五箇荘歴史かるた」「大和川かるた」を子供たちと作りながら、水の大切さ、川の役目、人々の暮らしを自然な形で子供たちに教えて来られたという事に、教育者として、大人としての素晴らしさを感じ入った思いでした。「大和川の付け替えについて」は、興味のある



法恩寺

るテーマでしたのでこれはぜひ参加したいとの思いでしたが、全く違うところに感動してしまいました。勿論、前半の大和川付け替えの内容も、初めてのお話でメモを取るのが追い付かないほどでした。



と小松さんは表現されていました。

しかし、もっと驚いたのは、この勉強を小学生の子供たちが一緒に考えていることです。「ここにたくさん雨が降ったら、どうなるんやろ」「あふれるで」「堤防を高くしたら、ええんちゃうん」「何でここまっすぐ通さんかったんやろ」「高いところの川底を掘ったら・・・」子供たちを変えるという事は、周りの大人の気持ちも変化していくでしょう。先生ってすごいな、子供ってすごいな、こう感じたのは私だけではないと思います。

後半のお話では、今の和川を考えるお話でした。「和川市民ネットワーク」の活動の中で、子供たちや父兄、地域の団体、学校、行政等と一緒に川をきれいに、という取り組みです。単なるクリーン作戦だけではなく、楽しみながら継続できる活動です。以前、水質汚染ワースト・ワンだった和川が、「今では水質改善率日本一ですよ！」と小松さんは嬉しそうに、眼鏡の奥をキラキラと光らせていました。継続は力なり、しかしそれは確かな知識と正しい行動があつてのことですね。失礼ながら、小さなお身体はどこからそのパワーが出てくるのでしょうか。

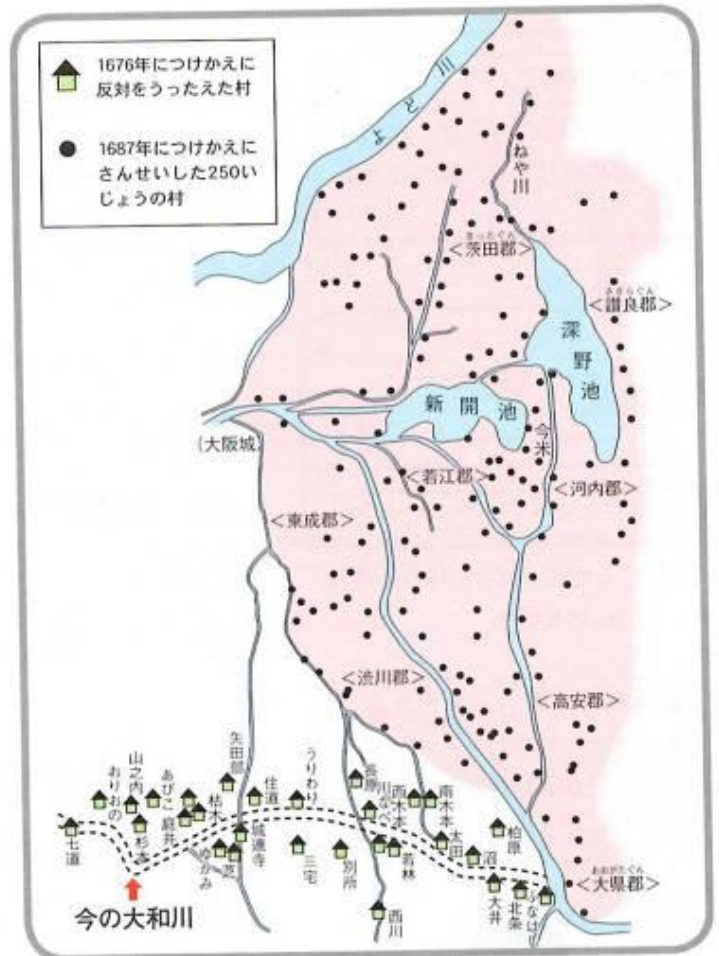
堺では、和川の付け替えでマイナス面を強調してしまいがちですが、良いことも多く持ってきた和川です。仕事の無い時代には、「お陰山」の名前の由来になったように、老いも若きも堺の人々は土砂の開削作業に携わったと言われています。堺の町は賑やかで大阪より先に新地が出来たと、1834年頃の「泉州堺湊新地繁栄之図」が物語っているようでした。

2回目の研修会で公開された図 ⇒

※広報部より

協会ニュース2018年6月号から9月号にて掲載しました「特集：和川付け替え 300年に想う（前編～番外編）」につき、「一部記載内容は、史実と異なる。」とのご指摘を講師の小松さんより頂戴しました。ご指摘内容は研修会配布資料にてご確認願います。また今後、掲載記事は十分な検証後に発刊致します。

当時の反対していた村を地図上にドット（○マーク）で表示したものや、高低差を色分けした地図を見せて戴くと判りやすく、今更に、今までの自分の知識が適当だったと反省も致しました。人々の訴えや幕府の調査、反対運動、ルート変更、反対運動、調査、付け替え、反対、また調査、また反対、と多くの村のもめ事やいざこざも招きながら、大きな改修だけでも4回はあったそうです。途中には大洪水もあり、やっとのことで「河内を救え」という和川の付け替え工事が終わったのです。そして「311年前、堺に和川がやってきた」



↑ つけかえにさんせいした村々と反対した村々

★ 平成30-11月度ガイド実施報告 (敬称略)

総件数 98件 案内人数 2,466人 派遣ガイド 154人

ご 案 内						
日 曜	お客様	人数	時間	場 所	派遣ガイド	
☆ ご案内のようす						
1 木	新日本旅行 「ふれあいルーム」	26名	10:00 11:35	清学院 鉄砲鍛冶屋敷跡 薫主堂 山口家住宅	松浦 田辺	
	・堺の北にある町家歴史館を中心に御案内しましたが、貝塚にも願泉寺を中心に寺内町があるとの事、道々それらを話題にして大いに盛り上がりました。					
3 土	三国ヶ丘高校PTA	39名	9:00 12:30	熊野小(玉座) 開口神社 利品の杜 武野紹鴎屋敷跡 妙法寺 南宗寺	谷崎 辻	
	・堺市内在住のはずですが、大小路交差点付近で「堺」のいわれの説明から「知らなかった！」の連発でした。南宗寺の家康の墓や水琴窟、八方にらみの龍を楽しんでおられました。					
	伊藤久子様	2名	10:00 16:00	御廟山古墳 いたすけ古墳 大仙公園 博物館 展望ロビー 南宗寺 大安寺	中西美	
	・北海道と豊能町からのお二人。古墳大好きな方で、博物館でも興味津々、熱心に見学されていました。文化財公開中の大安寺は是非拝観して欲しいと案内しました。かん袋で一休みをして帰られました。					
	アドバンテージ堺	9名	10:00 16:30	清学院 鉄砲鍛冶屋敷跡 福成寺 山口家住宅 妙國寺 宝珠院 南宗寺 利休屋敷跡 利品の杜	唄	
	・ビジ初学習塾の仲間で異業種で集まる50~70歳代の男女の方々。どの人も関心度が高く、質問が沢山あり、ガイドとしては充実したツアーとなりました。別れ際にはどなたにも握手を求められました。					
	吉田順子様	4名	9:30 15:40	内田家住宅 水野鍛錬所 妙國寺 仁徳陵古墳 博物館/VR	安田	
・水野鍛錬所では、古式鍛錬を見学される列が長く(100名を越すお客様)、この間にメキシコからの女性と内田家に行きました。1時間以上の待ち時間でした。						
山陽バス(株) 「山陽バストラストツアー」	23名	10:40 16:30	展望ロビー 博物館/VR 大安寺 利品の杜 利休屋敷跡 伝産会館	林茂		
・神戸市北部・明石からのお客様。展望ロビーから明石海峡大橋が見えて大歓声。絶好の行楽日和で「堺は本当に楽しかった！」と再訪を約束してお別れしました。						
4 日	JR百舌鳥古墳群めぐり	6名	10:30 12:30	御廟山古墳 いたすけ古墳 履中陵古墳 仁徳陵古墳 大仙公園内古墳	金谷	
	・快晴でハイク日和でした。お土産を取られたり、感嘆されたりの6名様と犬1匹の古墳めぐりでした					
	オーガトラベル 「観音寺市大豊商工会」	29名	11:00 12:20	鉄砲鍛冶屋敷跡 清学院 山口家住宅	武藤	
	・香川県から直通で来られたお客様。山口家では呈茶を楽しまれているお客様もいらして、囁きのガイドに快くお付き合いくださいました。最後まで笑いの絶えないガイドに努めました。					
花の文化園ボランティアグループ	23名	9:50 15:50	堺旧港 旧堺燈台 大浜公園 鉄砲鍛冶屋敷跡 福成寺 月蔵寺	森口		

				・旧堺燈台、大浜公園の蘇鉄山などから七まちをめぐる。月蔵寺では今年の7月に改修されたとの事で、境内に樹木葬の区域を作っておられ、日月園が素晴らしかったです。お客様方は、大黒様の説明に聞き入っておられました。	
4	日	「白河ロータリークラブ」	17名	12:55 利晶の杜 伝産会館 16:15 仁徳陵古墳 博物館	大橋
		・僧安珍（白河）と清姫（御坊）の物語の関係で結ばれた福島県白河&和歌山御坊の両ロータリークラブの集いで、昨日道成寺、今日は堺観光と気品のあるお客様。歴史ガイドを受け「幸せ」と皆様の声。			
		名鉄観光サービス常滑支店 「知多半島ケーブルネットワーク（株）」	6名	9:20 博物館 伝産会館 11:50 展望ビュー	弘瀬
		・堺に来られたのは6名で、大阪で降りられた方もおられたそうです。その6名には最高の案内をしましたが、他の皆様に堺を宣伝して頂けたかな？			
		(株)北港ツーリスト菅中町会	45名	9:00 仁徳陵古墳 大仙公園 9:45	金谷 浅川
・短い案内ですが、熱心に質問もありました。この後、関空の見学だそうです。申込は早かったそうですが、台風の影響で一週間前に見学が決まってほっとしていました。					
5	月	J R退職者組合 堺東堺西支部	19名	10:00 利晶の杜 利休屋敷跡 12:10 晶子生家跡 ザビエル公園 妙國寺	中西美
		・昨年この時期に案内させて頂いた団体。お仕事で良く通っていたらしい町並みを利晶の杜の床面地図で確認されていました。			
		大阪府高齢者大学校 基礎英会話科月曜コース	38名	9:30 利晶の杜 妙法寺 祥雲寺 14:30 武野紹鷗/今井屋敷跡 熊野小（玉座） 展望ビュー	中村博 井藤
・皆さん学ぶ姿勢があり熱心でした。私の English のバッヂを見て「英語の案内が聞きたい」とリクエストがあり、展望ビューで古墳を英語だ案内をし仲良くなりました。「堺は見る所が沢山あって楽しい」					
6	火	寿栄地区民生委員児童委員協議会	8名	9:00 仁徳陵古墳 博物館/VR 17:00 南宗寺 利晶の杜 利休屋敷跡 伝産会館	柴田友
		・高槻市の委員の方たちでした。おもてなしチケットを8回くらい使い路線バスと阪堺電車で移動しました。最後に「楽しかった」との感想を頂き充実した一日を過ごすことが出来ました。			
		読売旅行松江営業所 「正倉院展と春日大社」	21名	11:00 仁徳陵古墳 展望ビュー 14:30 伝産会館	林茂
		・遠路、鳥取県境港市からのお客様。展望ビューから眺めた堺市の広さと境港市よりも80万人も多い堺市の大きさにビックリされていました。「さかい」つながりで和気あいあい、秋の堺を楽しめました。			
		堺・大人の遠足（群麻江）	5名	9:50 妙國寺 妙法寺 開口神社 17:00 本家小嶋 利休屋敷跡 利晶の杜	川上浩
		・「町を歩けば」の本作成や市役所での公開講演会でご一緒した京都のルポライターさんが知人の皆様に声を掛けて頂いたツアーの3回目。女性経営者5名が集合。英語ペラペラ女性や神戸の旅館の女将さんなどがまざっていました。ゆったりしたプランで、堺を満喫して頂きました。			
		浦池憲子様 (福岡市博多から)	5名	9:30 ニサンザイ古墳 御廟山古墳 12:30 いたすけ古墳 仁徳陵古墳 伝産会館 展望ビュー	志野
・前日は奈良正倉院展。ジャポタナーで、最初の目的地のニサンザイ古墳をご覧になり、立派な濠と規模と美しさに大感激。九州にある古墳と百舌鳥古墳群と比較され、規模の大きさに驚いていました。					
「能勢町観光協会」	15名	10:00 博物館/VR 仁徳陵古墳 15:30 利晶の杜 伝産会館	木村義		

				・観光に関する事業に関わっておられる方々で興味深く楽しんで頂いた。VR で能勢町に前方後円墳が2つ有ると聞いて、一つは分かるがもう一つは、何か?と質問を受けた。帰宅後調べて回答しました。		
	名鉄観光サービス姫路店 「穴栗市自治会連合会」	15名	10:30 12:20	南宗寺 利休屋敷跡 利晶の杜	若槻	
				・雨上がりで南宗寺、座雲亭、無名碑付近に蚊が多く、案内に苦慮しました。遅れて来られたりして、拝観時間が短くなりました。		
	名鉄観光サービスなんば支店 「全国八幡宮連合」	64名	9:20 12:20	仁徳陵古墳 博物館	野澤 上野 田辺 川上由	
				・全国から集まられた八幡宮宮司さんの団体でした。私の担当は、なんと東京の実家の目の前にある八幡様の宮司さん(杉並区大宮八幡宮)でした。堺市世界遺産登録準備室の講演会があり、古墳と埴輪に関する特別講義を受け勉強になりました。		
	「毛穴八寿会」	30名	9:00 16:00	展望台 仁徳陵古墳 博物館 南宗寺 利晶の杜 利休屋敷跡 伝産会館	柴田友	
				・最高齢85歳才の老人会の皆さん。立ち寄り場所が多く移動にも時間が掛かりました。幹事さんが、元注染染めの会長さんで、伝統産業会館では逆に説明をして頂きました。さすがプロです。今回予定していた極楽橋見学は、この方の先祖の名前が寄進者の中に入っているということで計画されました。		
7	水	インブリージョン視察	6名	9:00 16:15	水野鍛錬所 薫主堂 清学院 和田商店 仁徳陵古墳 博物館/VR 伸庵 山口家住宅 利晶の杜	福井
				・堺で着地型ツアーを企画する旅行業者の案内でした。最初に環濠クルーズの船着き場から始まり、1日でも多くの観光スポットを案内しました。和田商店では職人のかたから指導を受け、研ぎの体験や名前入りの包丁を作る工程も教えて頂きました。どの場所でも興味深くしっかりと見学されていました。		
	岩手県北観光 「第70回正倉院展と百舌鳥古墳群」	18名	14:45 15:40	仁徳陵古墳 大仙公園内古墳 履中陵ビュースポット	樽野	
				・岩手県内各地から来られお客様。正倉院展から堺に来られ、1時間だけ古墳をご案内。この時期多くのかたが蚊に刺されました。明日は宇治の平等院から琵琶湖へ行かれるそうです。短時間で百舌鳥古墳群の特徴を理解して頂けるよう工夫しました。		
	産経新聞大阪本社メディア営業部	6名	14:00 17:00	諏訪ノ森駅舎 石津太神社 利晶の杜 開口神社 南宗寺	木村義 山田豊	
				・来年3月のガイドの下見。西コース。距離は出発・到着の計画時間に応じるなど検討。		
	名鉄観光サービス姫路店 「たつの市農業委員会」	37名	13:20 14:50	府大植物工場	宮尾 稲田	
				・農業のプロの方々でした。真剣に見学されていました。		
	堺区役所企画総務課 大仙小学校3年生	92名	10:00 12:00	仁徳陵拝所前	川上浩 山田豊 弘瀬 土山	
8	木			・ガイド体験の本番でした。生徒の皆さんは、各自作成の資料を使用し、立派に案内出来ました。小学校3年生らしいガイドで、自分の堺アピールはしっかり持って伝えていました。区民評議会提案の実施事案として成功。市長も来訪、テレビニュースにも取り上げられました。		
	(一般財団法人)日本国際協力センター 関西支所	8名	13:00 14:45	仁徳陵古墳 日本庭園	新井	
				・カナダからのお客様で、日本庭園では菊花展をご覧になり、呈茶で一服されました。庭園と公園をゆったりと散策でき、楽しめました。		

	河合町郷土を学ぶ会	4名	9:50 15:50	仁徳陵古墳 博物館 緑化センター 自転車博物館 日本庭園 履中陵古墳 いたすけ古墳 御廟山古墳	藤井安
	・来年2月の下見。大型古墳を見て感動されていました。本番は、60人が来られるそうです。				
	コウノトリ会	19名	9:20 17:00	南宗寺 展望台 仁徳陵古墳 博物館 水野鍛錬所 山口家住宅 利晶の杜	林茂
	・早朝に徳島を出発して、9時から17時まで精力的に堺を観光しました。南宗寺や利晶の杜では、地元出身の三好一族の話を中心に聞かれています。				
9	「寝屋川市社会を明るくする運動 七中地区推進委員会」	25名	10:05 11:05	利晶の杜	佐伯勇
	・地域のボランティア活動をされている皆様のグループ。「南海庵」での立礼呈茶に満足の様子でした。				
	郡山市観光物産振興協会	8名	10:40 12:05	展望台 晶子生家跡 利晶の杜 利休屋敷跡	石川幸
	・道路渋滞と高速道工事で到着が遅れました。行程を少し変えて昼食場所のグコ亭まで送りました。				
	群馬中央バス(株) 「群馬県立歴史博物館友の会」	8名	10:20 12:30	仁徳陵古墳 収塚古墳 長塚古墳 いたすけ古墳 御廟山古墳 博物館	瀬島
	・群馬県から直接観光バスで昨日奈良を探訪し、今日は堺の古墳を観に来たとの事。やはり、現物の巨大さには驚いておられました。古墳には詳しく、楽しいガイドをさせて頂きました。				
	香芝年金者組合	31名	13:30 14:30	南宗寺	佐伯美 松浦
・心配していた雨も上がり、家康伝説や八方にらみの龍、実相庵など反応も良く、楽しめました。					
10	TROの会	12名	10:00 15:00	仁徳陵古墳 博物館 伸庵/黄梅庵 展望台	森口
	・T:旅、R:歴史、O:温泉を楽しむ方々。仁徳陵から竹内街道を通り市役所まで皆様元気に歩かれました。羽曳野市から来られた方は、堺市の観光客の受け入れ体制が整っているのに感心しておられました				
	「麻生中婦人会」	16名	9:15 15:45	展望台 南宗寺 利晶の杜 利休屋敷跡 月蔵寺 山口家住宅 伝産会館	宮尾
・貝塚の婦人会のお客様。会で色々な所へ見聞を広めに行っておられるとか。堺にも何回か来た事はあったが、こんなに良い所だったとは、見直したとの感想で、朝からの強行スケジュールを歩いて満喫。					
11	JR百舌鳥古墳めぐり	18名	10:30 12:30	御廟山古墳 いたすけ古墳 履中陵古墳 仁徳陵古墳 大仙公園内古墳	金谷
	・快晴、ハイキング日和、枚方市・奈良市・大阪からの方々。たぬき様をみて、古墳を見て興奮!! 和気あいあいの古墳めぐりとなりました。解散後皆様食事などそれぞれのコースへ向かわれました。				
	ミツワトラベル 「伊丹市夫人共励会」	27名	14:15 16:30	伝産会館 展望台	長江
	・女性のお客様だけのグループでしたが、年齢は様々。共通点は、聞き上手でお買い物好き、前行程が梅田の「よしもと西梅田劇場」だったそうで、楽しい日帰りバス旅行のお手伝いが出来ました。				
	堺自転車ツアー	4名	9:00 12:00	旧堺燈台 片桐棲龍堂 大安寺 顕本寺 開口神社 鉄砲鍛冶屋敷	中村博

				<ul style="list-style-type: none"> ・秋季特別公開中の片桐棲龍堂から大安寺をめぐり、開口神社で呈茶を楽しみました。常連さんばかりで、皆さんの希望で早く終了しました。 		
	全日本年金者組合大阪府本部 泉大津・忠岡支部	7名	10:00 12:00	仁徳陵古墳 履中陵古墳 大仙公園内古墳 磐之姫歌碑 反正陵古墳	萩野	
				・晴天で、古墳めぐりに最適な日でした。ただ平均年齢76歳で、コース・時間的にタイトでした。		
13	火	産経新聞大阪本社 メディア営業部	6名	9:30 17:00	新金岡ブリック公園 金岡神社 方違神社 仁徳陵古墳 土塔 深井水賀池 百舌鳥八幡宮 いたすけ古墳 大仙公園	木村義 山田豊
				・7日に続いて3月23日に行われるが、午前に北コース、午後に中コースの下見。コース自体の再検討や、公園使用許可、ガイドスペースの確保、コース沿線施設への周知、安全対策等打ち合わせ必要。		
		大阪府高齢者大学校 大阪の史跡探訪科	45名	10:00 15:00	展望台 妙國寺 伝産会館 晶子生家跡 利休屋敷跡 利晶の杜 南宗寺	森口 萩野 加藤 丸山英
				・健脚のかたばかりで、楽しく史跡巡りが出来ました。堺に関する質問や歴史の話で盛り上がりました。次回は「古墳時代の堺」をお勧めしてお別れしました。		
14	水	自然総研 TOYRO 倶楽部	37名	12:30 16:15	利晶の杜 利休屋敷跡 晶子生家跡 開口神社 菅原神社 妙國寺 伝産会館	中西美 武藤
				・今年2回目来堺のお客さま。今回もお客様に恵まれた。戦で失った大切な命、消えてしまった建物。その時代の中で生き抜いた利休と晶子。やんわり暖かく皆さんの心に残れば…最後はお抹茶で一休み。		
		ヤサカ観光旅行センター 「京都商工会議所食品名産部会」	55名	10:10 11:50	府大植物工場	新井 高橋津
				・トラスを150円で販売していることを少し高いと感じた方もおられましたが、その価値のあることをもつとアピールします。植物工場の研究として、廃棄物の一部をバイオマスエネルギーに変える事もしています。		
		高槻市文化財スタッフの会 歴史探訪グループ	38名	9:30 15:50	南宗寺 顕本寺 開口神社 利晶の杜 利休屋敷跡 晶子生家跡 妙國寺 伝産会館 仁徳陵古墳	小川正 西川
				・広域連携活動でいつもお世話になっている方々で、来月会員交流会でもお世話になる高槻の皆様。三好一族の名跡を訪ねてのお越しでした。同じガイドをされている皆さんなので、話を聞く態度や歩くときも団体ルールをよく守られ気持ち良くガイドが出来ました。		
15	木	洲本商工会議所女性会	18名	12:30 16:00	利晶の杜 利休屋敷跡 博物館 仁徳陵古墳 山口家住宅	西本
				・経営者の女性たち。利晶の杜の建設費用明細について質問がありました。食事場所の青雲荘であなごの刺身などを食されましたが、淡路島の由良にはあなごの姿盛りの食堂があるそうで、一度は経験するように案内されました。		
		阪急交通社 「ガイド川上浩さんと行く 堺のまち巡り」	22名	8:20 16:00	博物館 仁徳陵古墳 利晶の杜 利休屋敷跡 伝産会館	川上浩 ★江村
				・先月の同じコースの復刻版。今回は梅田ですぐにマイクを渡されたので、大阪の古墳時代の堀江や北浜について話が出来ました。イヤホンマイクでのガイドは小さい声でも伝わるので疲れません。		
		「千鳥会」	20名	10:00 15:20	展望台 水野鍛錬所 利晶の杜 伸庵/黄梅庵 博物館 仁徳陵古墳	矢木

				・橿原市の歴史研究グループでした。特に黄梅庵についてゆっくり見学してもらいました。		
	大淀町高齢者学級	23名	13:00 15:30	展望ロビー 博物館 仁徳陵古墳	丸山英 稲田	
				・町の名産「お茶」と「堺県」の親近感で意気投合！古墳と緞通、博物館展示には感心されていました。		
	「松風会」	22名	9:30 17:10	仁徳陵古墳 博物館 水野鍛錬所 山口家住宅 伝産会館 郷田商店 利休屋敷跡 利晶の杜	藤井安	
				・西宮からお越しのご年配の方々と、歩行に時間が掛かりました。堺をご存知の方が多く「何度来ても良い町だ」とほめて下さった。特に博物館内が喜ばれました。		
	上野芝中学校	150名	10:00 14:40	南宗寺	弘瀬 寺口	
				・中学1年生の皆さん、礼儀正しく聞いてくれました。質問も色々投げかけましたが、歴史的の事など知識のないところがかえって新鮮でした。楽しくガイドができました。		
16	金	JTB 教育旅行神戸支店 「兵庫県私立中高等学校副校長教頭会」	17名	14:30 17:00	南宗寺 利晶の杜	藤井英
				・学校の副校長先生、教頭先生の団体で、さすがに熱心に話を聞いて頂きました。反応も良く楽しいガイドとなりました。お一人から「堺をかんじます」と言っていたいただき嬉しく思いました。		
16	金	ツアーボート 「乙訓交通安全協会」	39名	13:15 16:00	展望ロビー 江久庵 山口家住宅 伝産会館	土山 山下昇
				・若い方も多く元気に案内出来ました。バスの待ち合わせ場所が「かに道楽前」でしたので、出会ったお店で買い物が出来たことを喜んでおられました。		
16	金	名東ツーリスト 「愛知教育委員会連絡協議会」	28名	9:00 12:10	仁徳陵古墳 博物館 もず庵 利晶の杜	川上浩
				・愛知県の校長や教育委員会のグループ。熱田神宮そばの古墳の話をしたり、VRでもノリの良さは抜群。もず庵でのお買い物もすさまじかったです。利晶の杜での「桶狭間の話は第二次世界大戦の時に完成したドラマです」の話には、ご存知の方もおられました。最後に「学校の授業もこのように楽しかったらいいのになあ」の言葉が、先生が言われたのが面白かったです。		
16	金	堺商工会議所 「堺をよりよく知るための見学会」	24名	10:30 16:00	家原寺 南宗寺 開口神社 方違神社	木村義
				・商工会議所の理財金融部会の皆様でした。急遽森田顧問の代役でした。年齢層に幅があり、照準をどこに当てるか気を遣いましたが、進むうちに打ち解け楽しくがたてできました。		
17	土	斎藤真美様	1名	9:30 17:00	御廟山古墳 いたすけ古墳 履中ビュースポット 博物館 仁徳陵古墳 展望ロビー 南宗寺 利晶の杜 伝産会館	谷崎
				・博物館のツアーとVR体験ツアーが印象深かったと言っておられました。南宗寺では、家康伝説に意表を突かれたと言っておられました。堺の旅を精力的にめぐり大変お喜びでした。堺の包丁をお土産に。		
	一八燦燦会	21名	15:20 16:40	利晶の杜	上野	
				・三国ヶ丘18期生の会。会の名称の様に元気一杯の方々でした。茶の湯館、晶子記念館共に質問も多くあり、非常に楽しいご案内でした。		
	堺環濠町づくり推進協議会	13名	9:30 16:40	山口家住宅 本願寺堺別院 月蔵寺 妙國寺 伝産会館 晶子生家跡 利晶の杜	岡本匡 八木	
				・「環濠都市堺」の痕跡をめぐり、堺の歴史をご案内しました。お客様と話しながらいのご案内は楽しかったです。		

		「スポーツクラブ21おばた」	37名	12:00 15:00	仁徳陵古墳 履中ビュ 履中陵古墳 いたすけ古墳 御廟山古墳 博物館	國領 橋本要 田辺
		・絶好の古墳めぐりの日よりでした。参加者は70歳代が大半でした。5kmの行程との事でしたが、お客様の万歩計では10kmと推定されていました。古墳巡りはトイレ探しに困りました。				
		(株)DAIWA	9名	9:30 16:00	展望ビュ 反正陵古墳 方違神社 利休屋敷跡 利晶の杜 本願寺堺別院 山口家住宅	武藤
		・今年最後の「堺ウォーク」おなじみの皆様。今回は堺の方が多く、新たな堺の発見をして頂いた。83歳の白一点の方、堺空襲の事を話して下さりいつの間にか心一つに。お別れが辛いツアーに。				
18日		JR百舌鳥古墳群めぐり (姫路、京都、枚方、堺から)	6名	10:30 12:30	御廟山古墳 いたすけ古墳 履中陵古墳 仁徳陵古墳 大仙公園内古墳	林茂
		・古墳を見るのは初めて、2回目の方で「何故このエリアに多く造られたのか?」「労働者はどうして集めたの?」…等素朴で基本的な質問が多く、私もいい勉強になりました。				
		十喜会 (とうきかい)	11名	12:30 16:00	利晶の杜 本家小嶋 利休屋敷跡 南宗寺	浅川
		・以前、裏千家の冬季合宿で一緒した全国各地から来られた皆様。冬季会の字を変えて会の名前にしたそうです。明日は家元宅に着物で行かれるそうです。最終日は、保津川下りに行かれるそうです				
		小野旅行センター 「城山町自治会」	32名	10:20 16:10	仁徳陵 博物館 利晶 利 休 山口家 伝産	志野 小出
		・堺の歴史文化を発信しました。90歳を超える高齢者もおられました、最後まで元気に歩かれました。				
18日		堺市立登美丘西小学校 連合自治会	122名	9:10 12:00	狭山池 西除川 三津屋川 天野/西高野街道分岐点 陶器山 晴美公園	井藤 北野 山端 岡崎 江村 山田豊
		・学校校区連合自治会の皆さん PTA、子供会のグループの皆さんと狭山池～晴美公園まで歩きました。家族連れが多く和やかな一日でした。元気な高学年がグループのカードを掲げて先導したり、見事なリーダーぶりを見せてくれました。ゴール後にカレーやゲームなど楽しい時間を過ごされていました。				
		史好会	10名	10:00 16:00	大安寺山古墳 茶山古墳 永山古墳 丸保山古墳 銅亀古墳 履中陵ビュスポット 七観音古墳 いたすけ古墳 御廟山古墳	瀬島
		・南海電車のウォーキングと朝日新聞のウォーキングとが重なり、心齋橋並の混み具合でした。古墳をご存知ない方もおられ、説明は大変でした。古墳の旅ですが、旧大阪女子大や府立大学の説明もしました				
		近畿日本ツーリスト酒田営業所 「山形県立鶴岡中央高等学校」	57名	10:00 11:30	府大植物工場	小川喜 永田 田辺
		・東北の高校生達を案内しました。皆さんは大変静かに聞いて下さいました。				
		大津市平野学区人推協	37名	14:05 16:00	仁徳陵古墳 展望ビュ 伝産会館	岡本匡 石川幸
19月		・仁徳天皇陵古墳拝所前の案内は真剣な眼差しで聞いて頂きました。市役所展望ビュでは、あいにくの曇り空で視野が良くなく残念がっておられました。				
		ケイケイ旅行サービス 「上友会」	28名	9:50 16:20	展望ビュ 薫主堂 鉄砲鍛冶屋敷 水野鍛錬所 利晶の杜 仁徳陵古墳	谷崎 矢木
		・伊賀上野市職員OBのグループで、皆さんどちらでもお買い物。大寺餅さんでも予約注文以上に。				
20火		阪大電子39卒同窓会 (東京、神奈川、大阪、奈良から)	7名	14:00 17:00	利晶の杜 本願寺堺別院 妙國寺 伝産会館 展望ビュ 利休屋敷跡	岡本匡

				・同窓の皆さん。堺をこんなに知らなかったと楽しく語らいながら歩かれた後、「梅の花」へ。
	名鉄観光サービス姫路支店 「いなみ野学園インターネットクラブ」	41名	14:00 16:20	南宗寺 仁徳陵古墳 川上由 若槻
				・元気いっぱいのご年配の方々。各所見学にあたり、時間の余裕をもたれて熱心に案内を聞かれ、質問も色々と飛び交い、とても明るい皆様でした。
	桑野 幸 様	2名	14:00 17:00	展望ピラー ニサンザイ古墳 御廟山古墳 いたすけ古墳 柴田友 履中陵古墳 博物館 仁徳陵古墳
				・北海道からのおじ様が古墳めぐりを望み、藤井寺の方がサポートして古墳めぐり。タクシーを市役所からニサンザイ古墳、御廟山古墳まで使用。博物館のVRでは、貸切り状態で体験して満足して頂きました。
21	水			
	神姫バスツアーズ神戸支店 「テン誠友会」	32名	10:00 15:10	利晶の杜 展望ピラー 仁徳陵古墳 伝産会館 濱田 加藤
				・非常にまじめな団体で、質問も大変多くあり、楽しく案内出来ました
21	水			
	花の文化園 ボランティアグループ	9名	10:00 16:00	御廟山古墳 いたすけ古墳 履中陵古墳 緑化センター 仁徳陵古墳 磐之姫歌碑 森口 展望ピラー
				・花に関心のある方ばかりで、住宅の花壇の花の名前を言い当てたり、履中陵の前方部の葉が白い樹木を見ては、初めて見た樹木だと騒いでおりましたが、鶉の糞害だと分かるのがっかりしたり、賑やかな一日でした。
22	木			
	Angeltip (エンジェルチップ)	9名	10:00 16:30	薫主堂 内田家住宅 かん袋 妙國寺 川上浩
				・新メンバー3人参加で9人のまち歩き。いが造りの丹治で例年の昼食とおしゃべり。薫主堂では初代の調合票を見せてもらい、苦労話や楽しい話を聞かせてもらいました。もちろん全員お買い上げ。
23	金			
	アイ・ツーリスト 「小野ライオンズクラブ家族例会」	24名	10:00 12:00	展望ピラー 利晶の杜 戒田
				・市役所21階展望ロビー南側では、前日テレビで発掘調査の件が大々的に報道された事もあり、古墳の話で大いに盛り上がりました。
	岸和田年金者組合	15名	10:00 16:00	ニサンザイ 御廟山 いたすけ 履中 緑化センター 大仙公園 荻野 澤井 内古墳 博物館 仁徳陵
				・晴天にめぐまれ、気持ちよく古墳巡りで、約11kmを完歩されました。
	大阪いずみ市民生協 堺みなと委員会	36名	10:00 13:00	清学院 鉄砲鍛冶屋敷 山口家住宅 本願寺堺別院 中西美 妙國寺 伝産会館 牧
				・半日にしては廻るところが盛り沢山あり、駆け足になったのでは、と思いました。幼児も含む子供さんもおられたので、もう少しゆとりのあるコースにするべきだったと反省しましたが、お客様は喜んで頂きました。
	日本茶インストラクター協会 大坂支部	6名	10:00 11:30	南宗寺 木村義
				・南宗寺境内に1時間。塔頭に30分かけて、丁寧に御案内しました。解散後、午後に伝統産業会館の配置に付いているとご案内した方が偶然来られ、匠のひろばをご案内させて頂きました。
24	土			
	みなくる会	12名	12:40 17:30	展望ピラー 仁徳陵古墳 博物館/VR 利晶の杜 川上浩
				・自治大学校OBで、全員役所勤めの皆様。札幌から岡山までの方が集まりました。利晶の杜では、呈茶と和菓子展を楽しみ、梅の花へ向かわれました。

	医療法人 賢和ゆたか会	4名	9:30 12:00	仁徳陵古墳 博物館 日本庭園 ニサンザイ古墳	小川正
	・先月母娘で来られたお客様が、お父様と娘さんを入れて早速のレポート来堺です。古墳と紅葉をと、日本庭園をアレンジしましたが、これが素晴らしい好天にも恵まれ、大変喜んで頂けました。この後、八尾空港に行かれ、ヘリコプターで空から百舌鳥古市古墳群観光ということで、うらやましい限りです。				
25日	JR百舌鳥古墳群めぐり	5名	10:00 12:30	御廟山古墳 いたすけ古墳 履中陵古墳 仁徳陵古墳 大仙公園内古墳	樽野
	・西宮からご家族(小6と小3)、東京と美原区からのお客様。子供さん達にも分かるように、用語に注意してご案内しました。良い天気にも恵まれ、楽しく歩きました。				
	NPO 法人なんや衆	19名	10:00 12:30	浜寺駅舎 浜寺公園 北畠顕家碑 石津太神社 片桐棲龍堂 船待神社 一竿子忠綱本舗 利休屋敷跡 晶子生家跡	國領
・「堺の五街道沿道の歴史散歩」を大々的に10回も紀州街道を歩く。絶好のウォーキング日和で参加者皆さん元気一杯歩かれました。					

25日	堺安井校区自治連合会	100名	11:00 13:00	旧堺燈台 堺事件/天誅組碑 大浜公園 (蘇鉄山 相撲場)	小出 山下昇 田辺 柴田友
	・わが町、堺の意外な歴史めぐりが出来た様です。				
	FMM 趣味の会	3名	14:00 17:30	南宗寺 かん袋 妙法寺 武野紹鷗屋敷跡 利晶の杜	井藤
	・京と長野から早朝から来られました。利休ゆかりの地を歩く、感激一入だった。甘いものを頂きながらあつという間の楽しいまち歩きでした。				
27日	美木多校区福祉委員会	27名	9:40 15:30	日本庭園 自転車博物館 利晶の杜 伝産会館 土塔	小川正 西川
	・福祉ボランティアに携わっている皆さん。好天の中、日本庭園の鮮やかな紅葉同様爽やかなガイドが出来ました。				

27日	神姫バスツアーズ姫路支店 「日畑老人クラブ」	22名	10:15 12:30	展望台 仁徳陵古墳 自転車博物館 利休屋敷跡	土山
	・若い方々が多く比較的移動がスムーズでした。自転車博物館に興味深く見学され、お土産に自転車ブローチをたくさんお買い上げになりました。				
	日本セカンドライフ協会(社)	12名	10:30 13:00	ザビエル公園 菅原神社 開口神社 晶子生家跡 利休屋敷跡 利晶の杜	武藤
	・今回で4回目のお客様。チンデンを乗り継ぎながらようやく摂津から泉へ。海の利、地の利のある堺を実感して頂き、屋敷跡や利晶の杜では、今は亡き豪商たちの半端でない財力、堺生まれだからこそ、利休の自由な発想をお話しました。				
	日本ビジネストラベル 「JBトラベル1127ZS」	25名	25名	利晶の杜	大橋
	・広東省からのお客様。お点前体験と千利休の生き様に興味津々。お点前体験も賑やかに楽しまれ茶の湯館でも15世紀の歴史に予想を超える関心度で質問多数。日本人の美的精神文化の背景に深い興味を持ち学ばれた。				
27日	さわやか食の会	12名	9:30 12:30	展望台 妙國寺 利晶の杜 利休屋敷跡	野澤
	・女性が多く、ガイド内容に賑やかに、華やかに反応して頂き、楽しくすごしました。				
28日	近畿日本ツーリスト仙台教育旅行支店 「宮城県多賀城高等学校」	42名	9:50 11:30	府大植物工場	小川喜 森口

<p>・3泊4日の修学旅行で昨日は、京都市内を観光されたそうです。皆さん真面目な生徒さんばかりで熱心に聴いて頂きました。次の行程はUFJなので楽しみにされている様子でした。</p>				
神姫バスツアーズ(堺姫路支店 「双樹会歩こうクラブ」)	29名	10:45 15:40	博物館 仁徳陵古墳 利晶の杜 利休屋敷跡 伝産会館	中村博
<p>・姫路から来られた高齢化が進んだ歩こう会の皆様。最高年齢88歳の団体でした。知的好奇心をお持ちで「案内を聞いて初めて分かる事が多く勉強になりました」と感謝と拍手も頂き感激でした。</p>				
近畿大学 林ゼミ	42名	13:20 16:00	清学院 山口家住宅 妙國寺 伝産会館 菅原神社 開口神社 利晶の杜	矢木 橋本要
<p>・妙國寺と利晶の杜以外は外観を見て通り過ぎるツアーでした。徒歩で七道駅から宿院までジグザグの強行軍にも平気でした。</p>				
ビッグ・アイ共働機構 「アクセシブル・ツーリズム プレビュー2018/堺DIVE」	100名	13:30 19:00	ビッグ・アイ	柿澤 辻中 長江 佐々木 中西美 浅川
<p>・各地から来られた旅行業者の方や堺観光に拘っている方々、堺の物産や産業に拘る方々一同に会してのせな。お茶席に招いたり刃物の柄つけ等の案内をしました。</p>				

28	水	佐田野グループ(板野様)	7名	10:40 14:20	展望ピラー 利休屋敷跡 利晶の杜 南宗寺	武藤
		<p>・岡山から自家用車で3時間以上かけて堺へ。岡山の古墳は濠のないものが多いとか。ようやく理由がわかったよと。最後、龍によって降り注ぐ仏様の慈愛の雨を感じて頂き笑顔でお別れしました。</p>				
29	木	晩翠会	11名	9:00 16:30	利晶の杜 妙國寺 展望ピラー 南宗寺 仁徳陵古墳 博物館	宮尾
		<p>・小学校の先生方のOBが今日のお客様。皆さん堺をよくご存知の方ばかりで、うまく纏めた小冊子まで用意されていました。話は熱心に聴いて頂き、満足して帰って頂きました。</p>				
		名鉄観光サービス神戸支店 「伊丹市昆陽寺文化財を守る会」	60名	10:00 15:40	展望ピラー 家原寺 土塔 大寺餅 博物館	澤井 山端 荻野 藤井安
		<p>・伊丹の昆陽寺は行基建立との関係から「家原寺」「土塔」を勉強に来られました。行基の生まれた家原寺を熱心に拝観されていました。</p>				
		ホテル協会イベント 「堺DiveTourism」	24名	9:00 16:30	博物館/VR 伸庵 妙法寺 利晶の杜 利休屋敷跡 伝産会館 展望ピラー	柿澤 川上由
<p>・旅行関係の会社の皆様をご案内。妙法寺では「堺あそび asobi」のゆっぴたりとした、別世界の空間を体験頂きました。お寺のふすまに堺の情景のプロジェクションマッピングが投影され、堺は海に開かれた町、潮騒を聞きながら、香り豊かなお茶のおもてなし、…あわただしくスポットを駆け巡るのではなく、これからの堺旅は上質な空間を味わって頂く… 堺への誘客に手ごたえを感じた一日でした。</p>						
堺市立登美丘中学校PTA カルチャークラブ	17名	9:20 12:10	佛源寺 光念寺 西光寺 金剛淵 金岡神社 長光寺	佐伯美		
<p>・好天に恵まれて、お客様もこの行程は行った事のない場所でしたので、とても喜ばれ熱心に説明も聞いて下さり、楽しいガイドでした。</p>						

◆ 11月度 堺市博物館での『仁徳天皇陵古墳 VR (VR 体験ツアー)』

担当ガイドとお客様数

日・曜	1/木	2/金	3/土	4/日	6/火	7/水	8/木	9/金	10/土	11/日
ガイド 氏名	山下昇	藤井英	細谷 中辻	西井 宮尾	樽野	小川正	川上由	川上浩	西井 中辻	西井 藤井安
お客様	32名	23名	86名	76名	46名	42名	46名	36名	51名	82名
日・曜	12/月	13/火	14/水	15/木	16/金	17/土	18/日	19/月	20/火	21/水
ガイド 氏名	中村博	柿澤	野澤	中村博 川上由	森口	木村 川上由	小川正 細谷	土井	中村博	藤井安
お客様	30名	46名	19名	67名	51名	52名	83名	15名	26名	21名
日・曜	22/木	23/金	24/土	25/日	26/月	27/火	28/水	29/木	30/金	
ガイド 氏名	奥野	小川正 中辻	野澤 柿澤	川上浩 川上由	藤井安	宮尾	国領	中村博	寺口	
お客様	15名	58名	115名	66名	18名	46名	19名	65名	18名	

*アセアンの6名を英語アナウンスにて案内しました。記念すべき外国人対応第一号でした。

*博物館の休館日を知らないで偶然来られた方が5名いらっしゃいました。ネットで調べたり、拝所前で薦められて来られた方も多かった。

◆ 市役所小学校社会見学 (11月度)

11月2日(金) 八下西小学校 生徒46名 担当ガイド 泉谷 北野

11月22日(木) 深井西小学校 75名 新名 石川幸

NPO法人 堺観光ボラ 参加者募集 ンティア協会主催・公開講演会開催！
行基生誕1350年・ 「堺から仏教を変えた行基さん」
行基菩薩の寺・喜光寺より高次喜勝副住職にご講演頂きます。

第1部 講演：「堺から仏教を変えた行基さん」

講師・法相宗別格本山 清涼山 喜光寺 高次喜勝副住職

第2部 パネルディスカッション

パネリスト：喜光寺・高次喜勝副住職、堺市文化財課・近藤康司主査

コーディネーター：当協会員・柿澤和代

★申込方法

往復ハガキの場合：住所・氏名・電話番号・参加人数をご記入の上、

〒590-0077 堺市堺区中瓦町2-3-29 ウエノビル4階 NPO 堺観光ボランティア協会「公開講演会」係

メールの場合：sakaikvk@axel.ocn.ne.jp 件名に必ず「公開講演会」と明記

★日時：2019年2月20日(水)

★場所：堺市総合福祉会館（堺市堺区南瓦町2-1）6階ホール

★参加費：無料

★締切り：2019年1月31日必着

<http://sakai-kanbora.org/>

☆ 平成31年1月度 月間予定表

開始時間

場 所

日	曜	行 事	時 間	場 所
1	火	《 活 動 休 止 》		
2	水			
3	木			
7	月	定点ガイド部 Aグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
		運営委員会	14:00	堺市総合福祉会館 第1会議室
8	火	定点ガイド部 Bグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
		研修部会議 (見学可)	14:00	堺市総合福祉会館 第4会議室
9	水	定点ガイド部 Cグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
10	木	J A「CROP」取材 (南区大森)	9:30	集合：泉北高速 梅美木多駅
		ツアーガイド部会議 (見学可)	13:30	堺市総合福祉会館
11	金	定点ガイド部 全体会議 (見学可)	9:30	堺市総合福祉会館
		新年会の準備会議	14:00	堺市総合福祉会館
		企画部会議 (見学可)	10:00	堺市総合福祉会館 第5会議室
13	日	「1月の自転車ツアー」	9:00	集合：堺駅観光案内所
14	月	「さかい利晶の杜 定例調整会議」	16:00	さかい利晶の杜
15	火	総務部会議 (見学可)	10:00	堺市総合福祉会館
		「堺観光情報連絡会」	10:30	堺市役所2階
		<協会ニュース2月号>原稿締切り		<広報部>
16	水	『平成31年 新年祝賀会』	12:00	ホテル・アゴーラリージェンシー堺
17	木	広報部会議	14:00	堺総合福祉会館
18	金	「広域連携歴史探訪がっどワーク」実行委員会	13:30	大阪狭山市市民活動支援センター
		事業部会議 (見学可)	10:00	山之口商店街プラザ
22	火	「会員交流会 (高槻市・今城塚歴史館ほか)」	8:20	集合：市民広場(堺市役所前)
23	水	J A「CROP」編集会議 (南区大森)	14:00	山之口商店街プラザ
25	金	<協会ニュース2月号> 発行作業	9:45	観ボラ オフィス
29	火	「阪堺電車勉強会」	9:30	さかい利晶の杜
		定例部長会議	9:30	堺市総合福祉会館 第4会議室
【 予告 】				
・公開講演会「行基生誕1350年」			2月20日(水)	
・町家歴史館勉強会「山口家住宅」			3月19日(火)	

※ 1月12日(土)は、堺市役所の電気設備点検で本庁舎(高層館も)休業です。

平成30年11月度 活動実績と内容

<会員の活動実績>

正 会 員 数	232 名
当 月 全 休 会 員 数	6 名
会 員 活 動 参 加 数	226 名

定点案内所	定点案内所	876 名
	事務局・ガイド事務	171 名
	展望ロビー・学童ガイド	4 名
ガイド活動小計	ガイド活動小計	1,051 名
	ツアーガイド	228 名
その他	会議・研修会・勉強会	128 名
	イベント	1 名
	打合せほか	949 名
会 員 活 動 合 計		2,356 名

月/日	その他活動の主な内容	活動人員
11/1~22	堺秋季文化財特別公開の準備と後処理ほか	56 名
3~4	堺秋季文化財特別公開(11寺社ほか)のガイド、ミニツアー 呈茶など：ガイドなどのお客さま数 7,858名	553 名
10~11		
4	徳島県三好市「三好長慶まつり」に参加	4 名
5	運営委員会 於：総合福祉会館	29 名
21	20期新入会員の入会式(16名入会)	16 名
20	観光情報連絡会 於：市役所	6 名
23	堺市農業祭に参加	9 名
27	全体研修会(「大和川と堺」講師：小松清生氏)	66 名
28	堺秋季文化財特別公開の協会内の報告会	26 名
29	協会の部長会議(正副理事長と各部長)	10 名

<来客数実績>

定点案内所ガイド	(件数)
堺駅観光案内所	71 名
市役所展望ロビー	
一般	3,087 名
学童・先生	121 名
大仙拝所前	5,515 名
南宗寺	1,438 名
山口家	1,711 名
清学院	905 名
利休屋敷跡	3,119 名
妙國寺	496 名
自転車博物館	574 名
伝統産業会館	1,379 名
利品の杜	3,010 名

ツアー観光ガイド	
ツアー観光ガイド	3,790 名
ミニツアーガイド	
堺駅観光案内所	12 名
市役所展望ロビー	37 名
大仙公園観光案内所	53 名
特別公開など	
秋季特別公開関連	7,858 名
華美芝居など	523 名
来客数合計	33,699 名

当協会の創設(平成7年4月)以来の御案内人数累計	2,209 千名
--------------------------	----------



© dak

【編集後記】

平成最後の新年が明けました。1989年1月、当時の官房長官が「新しい元号は平成であります」と発表されたことをよく覚えています。

“国の内外にも天地にも平和が達成される”という意味が込められていたようですが、時代の流れは決して平坦ではなかったようにも思います。

しかし、平成でのスポーツ選手の活躍は素晴らしかったですね。野球の大谷翔平。体操の内村航平。スピードスケートの小平奈緒。そしてフィギュアスケートの紀平梨花… 何故か「平」の名前の活躍が著しいですね。

新元号にも大きな期待が寄せられますが、平らなところから大きく飛躍する時代となることを期待しています。

山本萬寿美